

## 12月にSGH特別講座を実施しました。

### SGH特別講座 ～共生社会と教育を考える～

平成30年12月13日（木）16:40～18:00 時習館高校視聴覚教室

#### 《目的》

授業後の時間を利用し、講師による講話を聞き、ディスカッションを行うことで、課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの5分野の中で、特に「**共生社会と教育**」について理解の深化をめざす。

《講師》 名古屋国際センター地球市民教室  
シバラム カドカ 氏（ネパール出身）

#### 《演題》「教育について考える」

ネパールの教育事情に関するお話やグループワークを通して、教育の欠落が命や人権に結びつくこと、教育を受けられないことで貧困が次の世代へ続いてしまうことなどを学び、**逆説的に教育の在り方や学ぶことの意義**についての理解を深めた。



#### [参加生徒の感想]

世界には7億8100万人もの読み書きができない人がいて、5800万人も学校に行けない子供達がいると思うと、自分が置かれている環境の豊かさがよくわかった。

教育を受けられないということは、単に読み書きが出来ないということではなく、一生、さらには子供の人生まで左右させてしまう重大な問題だということを知った。

自分たちのような物理的に恵まれている人間のほんの少しの行動（書き損じはがきを寄付するなど）が途上国の人々の教育を大きく改善することにつながるとわかったので、世界の教育改善のために今できることを考えて行動していきたい。

SGHの課題研究で、この講座で学んだことを活かして貧困や教育を受けられない子供たちのことをテーマに研究していきたい。

#### グループワークの様子



日本では教育は当然ととらえられ、受動的に勉強しがちだが、教育を受けるのは自分の質と社会の質の両方を高めていくためであり、もっと能動的、積極的に勉強していかなければならないと感じた。

ネパールということで外国の名前しか知らない程度の国であったので、少し遠いような問題に思えたけど、教育を受けることは日本であろうがどこであろうが大切なことであるはずなので、新しい法律により、ネパールがもっと豊かになればいいと思った。